

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者
 - ・氏名：小柳昭喜
 - ・年齢：
 - ・コールサイン：JH0TIS
 - ・連絡先 住所：
 - メール：
2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）

B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイデア
3. アイディア名：

みんなの力で、学研まんが〇〇のひみつシリーズ『アマチュア無線のひみつ』を刊行しよう！（大きなリターン付き）
4. アイディアの概要：

学研まんがの「〇〇のひみつ」シリーズは昔から有名で、誰もが小学校の図書館で読んだことがあると思います。『アマチュア無線のひみつ』を刊行して、全国の公共図書館や小学校の図書室に無償配布する。国内外のアマチュア無線家の力を結集して世界へ！
5. 詳細説明（図表を含めて4頁以内）：

誰もが知っている「〇〇のひみつ」シリーズ。「宇宙のひみつ」「自動車のひみつ」「サッカーのひみつ」「将棋のひみつ」など、一度は読んだことがあるのではないのでしょうか。

私は現在小学校に勤めていますが、最近は「餃子のひみつ（餃子の王将）」「歯と歯みがきのひみつ（ライオン社）」「住宅塗装のひみつ（PGS ホーム社）」「Wi-fi のひみつ（バッファロー社）」「漁業協同組合のひみつ（北海道漁業協同組合）」というような昔とは少し違う種類の本が、学校へ無償で送られてきています。

これらは、企業や団体の協賛のもとで作られた「まんがでよくわかるシリーズ」というものです。2001 年から始まった新しいシリーズで、主には非売品で、全国の公共図書館や小学校の図書室に無償配布されたり、あるいは協賛元から、景品として配られているものもあったり、中には市販されているものもあるそうです。

この本の効果は、とても大きいと思います。実際に、私がアマチュア無線を知ったきっかけは、小学校の図書館にあった『こどもの科学』でした。小学生は、図書館の本をたくさん読みます。それは、ネット時代の今でも実はさほど変わっていないのです。アマチュア無線を始める子どもが近年少ない理由は、「目に触れる機会が少ない」からだと考えます。実際に、学校の登山行事で無線機を使うと、子どもたちはとても興味をもちます。これまで、実際に免許を取ろうとした子どもが何人もいました。まずは、「目に触れる」「知る」ということが重要なのです。『アマチュア無線のひみつ』の本を全国の学校や公共図書館に配付することは、とても有効だと考えます。

さて、それを実行するには、費用がいくらかかるのでしょうか。それは、学習研究

社（学研ホールディングス）との交渉次第だと思います。例えば、『将棋のひみつ』の刊行には、日本将棋協会があくまでも「協力」という形であって費用は払っていないのではないかと思います。ただ、皆さんご承知のように、アマチュア無線の普及率は、将棋よりは現在では若干低いです。残念ながら。ですから、無料で刊行は厳しいと思われます。ひょっとしたら、莫大な費用がかかるかもしれません。全額を賄うのは、大変かもしれません。

しかし、その解決策があります。クラウドファンディングです。この提案に、アマチュア無線に関わる企業、小売店や団体だけでなく、個人のアマチュア無線家が多く賛同してくれると思います。実際に私が話したら、「いいね」と言ってくれる仲間が大勢いました。ハムフェア会場の皆さん、賛成してくれる方は、手を挙げてください。ほら、こんなに大勢います。ほぼ全員ではないでしょうか。特に、退職金をたくさんお持ちのシルバーの皆様が大勢手を挙げて下さっているのです、間違いなく、この提案は実行されるでしょう。

私の提案は、ここで終わりではありません。このクラウドファンディングは、ただの寄付で終わりではありません。高額を出していただくシルバーの皆さん、安心してください。リターンが期待できるのです。みなさんが少し力を貸してくれば。それは、この『アマチュア無線のひみつ』の版權を、海外に売り出すのです。外国語が堪能なアマチュア無線家はたくさんいます。英語、スペイン語、フランス語といったメジャーな言語はもちろんです。私が需要が高いと考えるのは、中国、インドといった人口が多い国だけではありません。私が今注目しているのは、インドネシアです。今 HF 帯では、中国に加えてインドネシアの局が増えてきています。人口も経済もどんどん伸びていっています。あるコンテストで私が片言のインドネシア語を使ったら、バンバンと呼ばれ続けました。おっとこれは、コンテストでの私の秘策なので、他のコンテスターには言わないでください。日本のアマチュア無線家だけではなく、世界各国のアマチュア無線家の力を合わせて、世界へこの本を広めていきましょう。ハム人口を増やすことには、どの国のアマチュア無線も賛成し、協力してくれるでしょう。ほぼ無償で（多分）。

この提案のリターンは、アマチュア無線を楽しむ仲間を増やすことで、私たちの交信する機会が増え、私たちの楽しみが増えることなのです。国内だけでなく、世界中で。もちろん、無線業界の利益も増えます。学習研究社も利益を得られます。まさに win-win-win の大きなリターンが期待できるのです。（アマチュア無線では金銭上の利益を求めてはいけないのです。笑）

最後に、この提案の実行可能性は、とても高いと思います。少なくとも、「住宅塗装のひみつ」よりは、小学生に読まれると思います。もしもこの私の提案が入賞しなくても、どなたか学研ホールディング社とつなげていただくよう、お願いします。

6. 参考情報

- ・ 参考資料：『学研まんがでよくわかるシリーズ 193 住宅塗装のひみつ』
- ・ Web 情報：WikiPedia ひみつシリーズ [ひみつシリーズ - Wikipedia](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%B2%E3%81%BF%E3%81%A4%E3%82%B7%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%BA)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%81%B2%E3%81%BF%E3%81%A4%E3%82%B7%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%BA>